

# 年頭のごあいさつ

謹賀  
新年

石田市長と谷本議長には、今年のご挨拶の読み札にして持っていただきました。

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様にはお元気で新春をお迎えることとお喜び申し上げます。

昨年は、政治、経済、社会、さまざまな変化のあった年ではなかったかと思えます。本市においても、多くの出来事がありました。特に、昨年1年間で4企業に倉吉への進出を決定していただいたことは、これからの地域の産業振興、雇用の場の確保を図る上で大きな意義があるものと考えています。

また、倉吉市のお生まれで、第119代光格天皇の御生母であられた大江磐代君ぎみの没後200年を契機に顕彰展を開催しました。大勢の方においでいただき、倉吉の歴史を考えていただく機会になったのではないかと思います。

さらに、倉吉市のイメージキャラクターとして「くらすけくん」がデビューしました。子どもたちをはじめ、市民の皆様にも喜んでいただいております。倉吉の情報発信のため、今後さらに活躍の場を広げていきたいと考えています。

今年、市制施行60周年に当たります。昭和28年（1953年）、倉吉町や上井町など9町村が合併し、新しく「倉吉市」として発足しました。いわゆる「昭和の大合併」です。その後、多くの先人のご努力により、倉吉市も今日の発展を見てい

## “元気な倉吉”へ—諸課題の解決に努力

るところであり、心より敬意を表したいと思います。

しかしながら、市政は、今も多くの課題を抱えています。人口減少、少子高齢化、厳しい経済環境、各地で発生するさまざまな災害への対処、大きな社会問題となつていっているいじめなどの人権・教育問題への対応などに当たらなければなりません。

とりわけ倉吉の活力という面で、若者の定住は最優先で取り組まなければならない課題です。昨年に引き続き企業誘致にもしつかり取り組み、雇用の場の確保に努力していききたいと考えています。

また、防災面では、取り組みをしてきた防災行政無線の整備も進み、今年には本格運用することとなります。もちろん、災害はないに越したことはありませんが、いざという時の備えはしておかなければなりません。市民の皆様の安心安全のために活用していききたいと思えます。

倉吉市として、発足して今年で還暦を迎えたこととなります。これを新しいスタートの年として、市民の皆様とともに、元気な倉吉にするために諸課題の解決に努力していききたいと思えます。

今年一年が皆様にとって、素晴らしい年になりますよう祈念し、年頭のごあいさつとさせていただきます。

## 行政

Administration

倉吉市長

石田耕太郎



新年明けましておめでとうございます。昨年、日本の国内外とも政治経済に劇的な変化が起りました。

外交では領土の問題が、中国、韓国、ロシアとの間で大きな摩擦を生じました。特に尖閣諸島の魚釣島の国有化の問題では中国で暴動まで起り、日本車やデパート、飲食店などが暴徒に襲われ、経済的に大きな被害をもたらしました。外交関係、特に日中関係が上手くいかない、日本の自動車産業をはじめ、多くの企業が想定外の被害を受けることになり、事実、その後遺症は今も続いています。

エネルギー問題でも、東日本大震災の影響で、福島第一原子力発電所の事故がその後の日本のエネルギーのあり方や人間の生き方を大きく変えました。各政党も原子力発電所をどうするのが、選挙の大きな争点の一つになりました。貿易関連では、TPP問題は自由貿易の世界で生きている私たちには、避けて通ることはできません。

社会保障の問題では、年金・医療をはじめ、今までの仕組みが行き詰まっています。国債の発行残高も1,000兆円に近づき、将来の子どもたちへの負担感は強く、世代間の不公平感をもたらしています。一方では、生活保護世帯はほとんど増えています。消費税の増税も身近に迫っています。

## 明るい未来を信じて—真剣に取り組む

新しい内閣には、このような大きな問題が数多くありますが、少しでも解決していた、き、明るい明日になるよう大いに期待しています。

昨年、倉吉市議会では、山陰新幹線(高速鉄道網)や看護大学の誘致など全員一致で議会決議をし、今後、夢の実現を目指して参ります。議員定数も3名削減いたします。これからは、倉吉市も人口が減り、高齢社会がますます進みます。小学校や保育園の統廃合も避けて通れない重要な課題です。厳しく険しい道になると思います。議会活動につきましては、昨年度から「議会たより」を発行し、少しでも市民の皆様身近な議会を目指しています。

明るい未来を信じて一歩一歩、市政の課題に真剣に取り組んで参ります。

特に今年、市政60周年にあたり、羅州市との姉妹都市提携も20周年を迎える節目の年になります。初心に戻り、明日の倉吉市を一から見直すいい機会です。過去に戻ることはできません。これから何をすべきか、どうあるべきかを市民の皆様とともに真剣に考えて参りたいと思います。

最後になりましたが、新年の門出にあたり、本年が皆様にとって、幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

# 議会

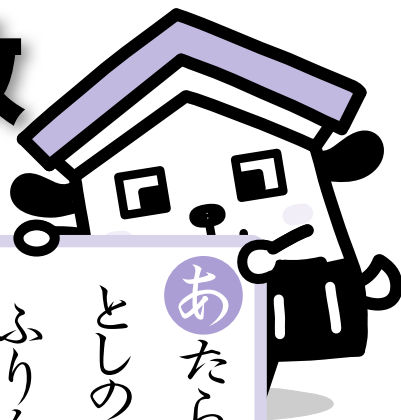
Assembly

倉吉市議会議長  
谷本修一

あ

らた(改)むるに  
はばかる  
ことなかれ

# 平成24年倉吉市政 主要ニュース



あたらしい  
としのはじめに  
ふりかえる

## す 進む企業誘致

鳥取県外の企業による、業務拡大などを目的とする本市への進出が4件決定し、進出に係る協定書の調印式を行いました。今後、地域経済の活性化や雇用の拡大が期待されています。

- ▶(有)ワールドファーム(本社:茨城県つくば市)(1月25日(水))
- ▶(株)ウッドプラスチックテクノロジー(本社:東京都文京区)(7月18日(水))
- ▶(株)カインズ(本社:大阪市中央区)(11月6日(火))
- ▶(株)アイ・オー・プロセス(本社:大阪市中央区)(12月19日(水))



## さ 災害関係協定の締結

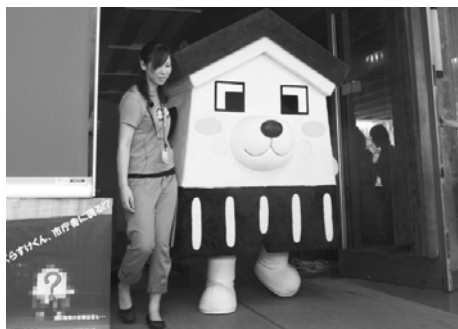
地震や風水害などの大規模災害発生時に、迅速に、生活・救援物資などを確保したり、自治体間での相互支援・応援を行うことができるよう、災害に関する協定締結を、民間企業や他の自治体と進めました。

- ▶(株)ポプラ…「災害時の物資供給等に関する協定」締結(1月17日(火))
- ▶千葉県松戸市…「災害時の相互応援に関する協定」締結(2月17日(金))
- ▶千葉県館山市…「災害援助協定」を締結(9月2日(日))
- ▶山陰都市12市…「山陰都市連携協議会危機事象発生時における相互応援に関する協定」を締結(10月2日(火))

## し 小・中学校の適正配置などに関する議論を開始

倉吉市教育委員会から諮問を受け、学校・学級の適正配置について検討を重ねてきた倉吉市学校教育審議会が、2月21日(火)、「小・中学校の適正配置等について」として教育長に答申を行いました。

これを受けて、教育委員会では、4月下旬から8月中旬にかけて、市内14小学校区での地区説明会を、11月には、市民シンポジウムを開催するなどして、賛否を含めた市民の意見を広く聞き取り組みを開始しました。



## く 「くらすけくん」、名前も決まって本格始動!

平成23年12月にデザインが決まった、倉吉市のイメージキャラクターの愛称募集には、959点の作品が寄せられ、福有愛さん(上大立)による「くらすけくん」が選ばれました。

また、7月18日(水)には、「くらすけくん」の着ぐるみお披露目式が執り行われ、市内保育園児によるオリジナルソングに合わせ、華々しいデビューを飾りました。その後も、「くらすけくん」は県内外で精力的に活動し、本市のPRに努めました。

## が 学校給食センターの調理業務を民間委託

学校給食センターの調理業務の民間委託先については、委託先の決定方法に公募型プロポーザル方式を採用し、5事業者から提案を受けました。その中から(株)東洋食品を受託事業者として選定し、契約を締結。それに伴い、同社は、4月から事業を開始しました。

委託した業務は、順調に実施されており、安全でおいしい学校給食が日々提供されています。6月には、「くらすけくん」をラベルに使用した鳥取県産すいかゼリーも登場し、子どもたちを喜ばせました。





平成24年は、皆さんにとってどんな1年でしたか？  
本市の出来事や事業の中から、特に市政にとって主要な  
ニュース10項目をピックアップしました。



### う 上灘中央交流促進事業が完了

平成18年度から始まった上灘中央公園周辺の整備が、「市営うわなだ中央住宅」の竣工をもって完了し、4月3日(火)に竣工式が開催されました。

この施設は、1階に子育て支援センター「おひさま」と、防災倉庫を配置し、2階から6階までが市営住宅となっています。鳥取県内で初めての市営住宅と福祉施設が連携した複合施設で、今後、これらを活用した、幅広い地域活動が期待されています。

### じ JR倉吉駅がグランドオープン

「倉吉駅周辺まちづくり構想」に基づき、平成13年度から実施してきた倉吉駅周辺整備事業が完了しました。この事業では、駅北側の土地区画整理事業などとともに、JR倉吉駅の橋上化や、これまで鉄道により分断されていた南北をつなぐ自由通路(市道)の整備も実施され、さまざまな交流の基点となることが期待されています。

6月1日(金)には、竣工式が執り行われ、倉吉の新しい「顔」の完成を盛大に祝いました。



### か 片岡鶴太郎さんが倉吉市観光大使に

片岡さんと倉吉市は、4月に倉吉博物館で開催され、大盛況のうちに幕を閉じた「片岡鶴太郎展—艶葉樹—」をきっかけにご縁が生まれました。また、片岡さんが「特に好きな花」という椿が本市の「市の木」であることや、同展開催中に来倉した際、歴史ある街並みや、人情の温かさに好印象を持っていただき、観光大使の委嘱につながりました。

石田市長は、「今後、ブログなどで倉吉をどんどんPRしてほしい」とその高い著名度を生かした活動に、期待を述べていました。

### お おおいわしるぎみ 大江磐代君顕彰展などの特別展を開催

9月8日(土)から10月8日(月・祝)にかけて、本市ゆかりの日本画家 菅桶彦を顕彰し、風俗を画題とした新たなコレクションの形成を目的とした展覧会「第8回菅桶彦大賞展」が倉吉博物館で開催されました。

また、10月13日(土)から11月4日(日)には、「大江磐代君顕彰展」を同館で開催。倉吉の生まれで、第119代光格天皇のご生母となる磐代君の書状や光格天皇の肖像画、ゆかりの工芸品などを展示しました。

両特別展には多くの市民が訪れ、鑑賞しました。



### り 陸上競技場がリニューアルオープン

倉吉市営陸上競技場は、囲障、水路、観覧席を改修し、さらには、補助競技場、駐車場を整備し、リニューアルオープンしました。

また、20年ぶりにトラック、フィールドなども全面改修し、日本陸上競技連盟公認の\*第三種全天候舗装陸上競技場に継続認定されました。\*日本陸上競技連盟加盟団体などの公式対抗競技会が開催できる競技場。

9月には、改修記念事業として「ジュニア陸上教室」が開催されました。今後も中部地区の陸上競技の拠点として活用されます。